

牧発電所の出力変更

2020年12月14日
北陸電力株式会社

当社は、牧発電所の発電所出力を2,200キロワット増加させたことから、本日（12月14日）、電気事業法の規定^{※1}に基づき、発電事業変更届出書を経済産業大臣へ届出しましたので、お知らせします。

当社は、電源の低炭素化の取組みの一つとして、水力発電電力量の拡大を目指し、積極的に取り組んでおります。

このたび、神通川水系の牧発電所において、既設設備の性能確認試験結果により、発電所出力を合計2,200キロワット増加できることを確認したことから、下記のとおり出力を変更しました。

当社は、今後とも、再生可能エネルギーの導入拡大などにより、低炭素社会の実現に積極的に取り組んでまいります。

記

発電所名	最大出力	年間発電電力量（増加量）	CO ₂ 排出量削減効果 ^{※3}
まき 牧発電所 （岐阜県飛騨市神岡町）	42,700kW (2,200kW増)	年間約570万kWh ^{※2}	年間約2,600トン

以上

別紙：牧発電所の概要

※1 電気事業法の規定（第27条の27第3項）

発電事業の届出事項に変更があった場合、経済産業大臣への届出が必要であることを規定

※2 一般家庭約1,800世帯の年間使用電力量に相当

※3 当社2019年度調整後CO₂排出係数を使用して試算

牧発電所の概要



牧発電所 全景



1号発電機



2号発電機



3号発電機

	発電所諸元
運転開始年月	昭和17年6月
水車型式	立軸単輪単流渦巻フランス水車
発電機型式	立軸三相交流同期発電機
主機台数	3台
発電所出力	42,700kW (2,200kW増)
増分発電電力量	約570万kWh/年

<参考>

今回の出力増により2018年度対比で累計約0.176億kWh/年の水力発電電力量増加
(目標:2030年度までに発電電力量1.4億kWh/年の拡大(2018年度対比))